

各位

会社名 株式会社ソフトフロントホールディングス
代表者名 代表取締役社長 二通宏久
(コード番号：2321 東証グロース)
問合せ先 取締役 財務・管理統括担当 程崎 絵李加
電話 03-6550-9270

通期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2026年2月12日に公表しました2026年3月期(2025年4月1日～2026年3月31日)の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期業績予想と実績の差異

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表(A)	百万円 950	百万円 △163	百万円 △159	百万円 △151	円 銭 △2.94
実績(B)	960	△117	△111	△99	△1.93
差額(B-A)	10	46	48	52	1.01
増減率(%)	16.6	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	823	28	△58	△81	△2.62

2. 業績予想との差異の理由

当社は、当社グループの主力製品である「commubo」、「telmee」及び「SITE PUBLIS Connect」の商品力強化に主軸を置くとともに、既存事業の「SUPREE」の受注を中心に営業活動に取り組んでまいりました。

売上高につきまして、既存事業の「SUPREE」は、顧客数が減少するものの、組込みソフトウェア分野での開発や他社製品との連携の分野で優位性が発揮され、120百万円の計画に対し129百万円の売上計上となりました。

「commubo」及び「telmee」は月額課金のストック型ビジネスであり、コールセンターを中心とするボイスボットニーズは高まりと、特定の業界・業種に精通している企業へのOEM提供によって販売効率を高めてまいりました。今後も顧客数の伸びに応じて安定的な収益が堅調に推移するものと見込んでいるものの、その一方で、将来導入を検討する潜在顧客も多くPoCや限定的な利用に留まるユーザが一定数存在し、本格的な運用に至るまでに遅延が生じたことなどにより、新規獲得が計画に届かず387百万円の計画に対し375百万円の売上計上となりました。

「SITE PUBLIS」においては、企業におけるDX推進のニーズの高まりの中、企業にとってのWebサイトの重要性が増していることから、既存顧客からの追加改修の案件を受注しております。その一方で、新規受託開発売上においては顧客企業のビジネス環境の変化による大型開発の見送りやデリバリースケジュールの後ろ倒しがあったものの、327百万円の計画に対し337百万円の売上計上となりました。

また、新規事業であります「AIデータセンター事業」及び「クリーンエネルギー事業」において積極的に事業活動を行った結果、「AIデータセンター向けのコンサルティング業務」や「AIデータセンター向けCluster Engine販売代理店業務」等の開始に至っております。その他、「AIデータセンター」向け製品の

販売活動も行った結果、当連結会計年度におけるAIデータセンター関連事業は、114百万円の計画に対し118百万円の売上計上となりました。

以上のことから、売上高につきまして前回業績予想を上回りました。

営業利益につきましては、外注費の削減を図ることによる売上原価の圧縮や販管費の縮減などによる効果も現れはじめ、当連結会計年度におきましては前回業績予想を上回りました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、本日公表しました「特別利益の計上に関するお知らせ」のとおり、株式の譲渡に関連する金銭債権に係る一部の支払などもあり、前回業績予想を上回りました。

(注) 上記の内容は、本日（2026年5月13日）公表の「2026年3月期決算短信【日本基準】（連結）」に反映しております。

以 上